



緊縮予算下での投資活性化と患者への新薬提供の拡大

- 緊縮予算の下であっても、PhRMAは、イノベーションに対する報酬向上による患者への新薬提供拡大と、医療費全体の抑制という2つの目標を達成することが可能であると考える。
- 提出データが示す様に、製品サイクル初期段階での報酬やインセンティブを引き上げる政策に要するコストは、製品サイクル終盤にコスト削減目的で行うジェネリック製品の使用拡大等の政策で達成可能なコスト削減の、ほんの数分の1に過ぎない。
- 効果的な価格改革を行う際に絶対不可欠な要素は、業界に対し、限りある研究開発費を、国際的ポートフォリオのどの分野に、いつ、どの様に投資すべきか、価格設定に関して確実に正しいシグナルを送ることである。
- 新薬の価格引き上げによる相殺を行わずに製品サイクル終盤の価格を引き下げた場合、研究開発型製薬産業の日本への投資を冷え込ませる可能性があり、ひいては患者に対する新薬提供を阻む結果をもたらすと考えられる。